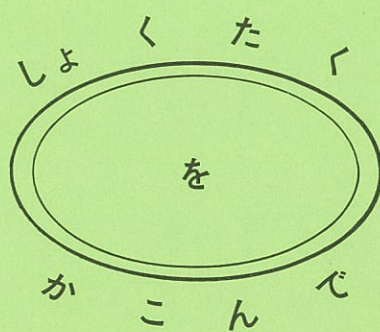




# F I R E S

家 通 関 体 奉  
族 じ 係 験 仕  
合  
い



BY GABRIEL CALVO

## 食卓を囲んで =====

このパンフレットは「家族のワークショップ」に参加し、その体験を各々の家庭で活かし、高めていきたいと願う数多くの家族の要望に応じて発刊されたFIRES 3号です。

食卓を囲んで家族が話し合いをするために、12の課題があります。それは、家族一人一人の考えに耳を傾ける12回の素晴らしい機会となるでしょう。この話し合いにより、通じ合い、理解し合い、出合うことが出来て、家族として更に成長することが出来ます。

このような機会は、家族の一人一人、家族全員に自己内省を促し、各家庭にとって家族の集会を持つ12回のチャレンジとなります。それは自分の家の玄関のドアの前に立っておられる神からの12の呼びかけでもあります。

さて、私達はこのようなチャレンジを受ける勇気があるでしょうか？ドアを叩いておられる神をお迎えするよう、ドアを開けるでしょうか。あるいは“時間がない”と言って断わる口実を探すでしょうか。．．．どんな口実を作ったにしても、みな体良いい言い訳で、表面的な答えにすぎません。

私達には皆、平等に一日に24時間が与えられています。果して、その時間をうまく利用しているでしょうか。実際の行動と頭の中で考えること、理論や信念には、あまりにも大きな差があるような気がします。私達は、このような生活から抜け出さなければなりません。では、どうしたらよいでしょうか。

このパンフレットは、あなたやあなたの家族の「考えや信念」と「実際の行動」との間のかけ橋になる為の助けとなるように書かれたものです。



### ※集会を始める前に

- (1)食卓を囲んで、家族の集会を行う為に集まる日と時間を はっきり決める。
- (2)このプリントの手順に、できるだけ従って行ろ。
- (3)家族は、集会の2、3日前に各々 静かな所で内省し、質問に対する答えをノートする。その為に各自でノートを持つ。
- (4)決められた日の決められた時間に、神も一緒に参加して下さるよう招き、集会を開く。
- (5)では、より通じ合う、深い対話を！！  
さあ、始めましょう・・・

## I. 家族が互いに、より深く知り近づくように

### オリエンテーション

- ・私達は、物質的、消費社会の中に生きており、その社会は私達を いやおうなしに人間よりも物質的なものの方に価値を認めさせようと強力な手段で迫っています。生きることよりも物を持ったり増やしたりする事の方に、価値観が優先されているのです。
- ・この物質的（無神論的）な動向は、私達の家庭を破壊しつつあり、ひいては社会全体の崩壊に広がりつつあります。
- ・私達は互いに尊敬と称賛の心を持って目と目を合わせ、今日の集會に臨みましょう。家族は 人格と人格の共同体ですから、その事を認めるべきではないでしょうか。
- ・この大事な 家族間のコミュニケーションの為に、先ず第一に自己との出会いが必要です。次の問いに、正直に答えましょう。  
「問」(1)私は実際（現実）に、自分自身について、どう思いますか。  
(2)私は、どう あるべきですか。

### 内 省

- (1)果して私は家族の中で、価値ある一人の人間だと実感しているでしょうか。
- (2)家族全員が私を 価値ある人間として、尊敬してくれますか。そうしてくれないのは誰ですか。
- (3)私は、家族全員を価値ある人間として 尊敬していますか。尊敬していないのは誰ですか。
- (4)私を含めて、自分の家族 各々の人を 一言で表現するとしたら一番適切な言葉は何ですか。
- (5)自分の家族がどのようなものか、一言で表現するなら 一番適切な言葉は何ですか。
- (6)私達の家族は 一人一人が、責任感を持っているでしょうか。
- (7)私達の家族は一人一人が自由を感じ、互いの自由を尊敬し、認め合っているでしょうか。
- (8)そのような自由と責任感のある共同体となる為に、私は何をしたらよいでしょうか。

### 家族の集會

全員が各々に自分の内省文を読みます。その時、他の人は質問したり論じ合ったりしないで、真面目に 愛をもって聞きましょう。ただ心から、家族一人一人の内省を聞くだけにします。

## Ⅱ. 日常の小さな出来事等においても、通じ合うように

### オリエンテーション

- ・鳥は飛び、魚は泳ぐことが本来の姿であるように、人間は互いに愛し合あい、通じ合うことにより本来の姿を示します。それが出来ないと人は悩み、ついに自滅に追いこむことになってしまいます。人間は、孤立して生きることが出来ないのです。
- ・良いコミュニケーションの為に、必ずしも重大な事柄や出来事等を話さなければならぬとは限りません。日常茶飯事についてでも出来るのです。一番やりやすい環境は、一緒に生活している家族です。先ず、家族での良いコミュニケーションが大切でしょう。
- ・もし些細な事で意志疎通に欠けているなら、まして複雑な問題がある時等の通じ合いは出来ません。そうなると、どうしてよいかわからなくなり、色々の間違っている方法で解決しようとし、むしろ問題が悪化してしまいます。

Ⅲ 省：私達の五感についても考えましょう。各々、三つ挙げて下さい。

- (1) 見たいものは・・・
- (2) 見たくないものは・・・
- (3) 聞きたいと思うのは・・・
- (4) 聞きたくないと思う事は・・・
- (5) 懐しい匂い (嗅ぎたい香、匂い) は・・・
- (6) 思い出したくない、イヤな匂い (嗅ぎたくない匂い) は・・・
- (7) 食べたいものは・・・
- (8) 食べたくないものは・・・
- (9) さわりたい、(手にしたい、触れたい)ものは・・・
- (10) さわったり、(触れたり、手にしたりしたくない)ものは・・・
- (11) 一週間の中で一番よい日は 曜日です。
- (12) 週末になったら先ず (一番) やりたい事は・・・

### 族の集会

全員が上記 1 2 の課題で内省しノートし、順に読みます。聞く人達は、互いに注意深く、耳を傾けましょう！

### Ⅲ。許し合えるように

#### オリエンテーション

- ・ 真の和解がなければ、真の深い通じ合いや出合いはありません。家族の生活を新しくする（より通じ合う、深い交わりのある家庭にする）カギは、家族間での和解です。
- ・ 私達は皆、失敗しますし、心の中では「悪かった」と思っていますが素直に謝ったり、自分の非を認めたりが仲々うまく出来ないものです。が、その事が家族の誰かを傷つけ、時には良い家族関係を作る妨げとなります。これは、どこの家庭でも再々、あり得る事です。
- ・ いわゆる信心深い家庭でも、一般家庭でも、大体 和解の姿勢や精神、努力が不足しています。
- ・ 夫と妻、両親と子供達、兄弟・姉妹の間で・・・、何よりも和解が必要で、この和解こそ家族の真の相互コミュニケーションの第一歩となります。

#### 内 省

- (1) 家族一人一人に対し、特に自分が誤解したり、傷つけたりした事はないか、思い書きましょう。
- (2) 家族の生活と一致に対して、自分が誤解したり、傷つけたりしていた事は何ですか。

#### 家族の集会

- ・ 心から許し、許される為にも互いに、心の底から 愛をこめて聞きます。
- ・ 祈りや聖歌は たとえ短かいものでも、心をこめて唱えたり歌ったりしましょう。と理解のまなざしで、互いに目と目を合わせて聞き合います。

#### Ⅳ. 必要性和望みを分かち合うように

##### ・リエンテーション

- ・相互の信頼の雰囲気があれば、良いコミュニケーションは出来ません。信頼し合うことは人間の真の相互関係のカギとなり又、真の愛の証拠となります。しかし、それは決して押しつけるものではなく、自分が信頼に値しない限り得られません。
- ・「信頼する」ということは、実際に自分や他人を信頼することによって学んでいきます。シンナー遊び、アルコール中毒、非行、暴力、自殺etc.の問題は、互いに信頼し合えない事が原因で起こる社会的現象であり、これらは家族の中で互いに心の底から自分の望み、欲求、願い等、必要なことを分かち合うことで防げることが多いのです。
- ・家庭は夫と妻、両親と子供達、兄弟姉妹・・・の間で、互いに心を開き話し合える最も親しい相互の信頼関係を作る特別な場となるべきです。

##### Ⅴ 省

- (1)自分は幸せだと思いますか。それとも不幸せだと思いますか。それは何故ですか。
- (2)自分の家族の事で、一番好きな事は何ですか。
- (3)自分の家族の事で、一番きれいな事は何ですか。もし家族の誰かにきれいな点があるとしたら、それは何ですか。
- (4)家を出をしたいと思ったことがありますか。それは何故ですか。
- (5)私自身が持っている問題があるなら、何ですか。それを家族に打ちあける勇気があるでしょうか。もし打ちあけられないとしたら、それは何故ですか。
- (6)家族の中の誰を一番信頼していますか。それは何故ですか。
- (7)家族の中で誰を一番信頼出来ませんか。それは何故ですか。
- (8)家族に対し信頼を持ってない為に言えなかった事で今、打ちあけたい事がありますか。
- (9)果して今心から家族と深く通じ合いたいと思いますか。どうですか。通じ合いたいなら、どうしたらよいでしょう。誰と通じ合いたいですか。
- (10)今私が一番必要としている事は何ですか。

##### 家族の集会

上記10項目について、家族で互いに分かち合います。それに意見を言ったり批判したりしないで、心から愛をこめて聞きましょう！

## V. 個人的な価値観を発見するように

### オリエンテーション

- ・今日の“食卓を囲む”家族の集会は、私達が家族の一人一人をもっと大切にするように努力しようということです。
- ・私達一人一人には隠れている個人的エネルギーの賜物がありますが、ふさわしいコミュニケーションになってない為に、日常生活の流れの中に見失いがちです。
- ・私達は家族の各々がもっている消極的な面を見がちなのに、自分も家族の人達ももっている積極的な面を、仲々発見出来ないという傾向があります。
- ・これからの心がけで、家族の生活を もっと深めることが出来ますから、その妨げとなる 思わしくない傾向を改めなくてはなりません。

### 内 省

- (1)自分の長所の中で、特に良いと思うものを三つ あげて下さい。
- (2)家族一人一人の一番の長所をあげて下さい。
- (3)自分について、一番好きな点は何ですか。
- (4)家族一人一人について、私が一番好きな点をあげて下さい。
- (5)“食卓を囲む”家族の集会を通して、私が家族（自分も含一人一人）について 発見してきている事は何ですか。

### 家 族 の 集 会

上記の課題で内省したものを、分かち合います。互いに一層支え合い、励まし合い、更に努力してゆきます。

## Ⅵ。ありのままの自分や他人を受け入れるように

### オリエンテーション

- ・私達は、ありのままの者でしかないので、それを認める事が大切です。
- ・私にとって、ありのままの自分や他人を受け入れるという事は、決して たやすい ことではありません。
- ・私達は、ありのままの他人を受け入れにくく、自分が望んでいることを人に要求しがちです。
- ・自分の個人的な不幸せや家族、地域での問題や不安の多くは、相互の受け入れが足りないことから起こります。
- ・家族の一人一人が 各々に ありのままを受け入れ、又 受け入れられている家族ほど幸せな家族だと いえるでしょう。
- ・あなたの家族は どうですか。

### 内 省

- (1)ありのままの自分を 受け入れていますか。
- (2)自分の中の 一番受け入れにくい事は何ですか。
- (3)私は家族一人一人の ありのままを全て、受け入れるようになりましたか。
- (4)家族中で誰を ありのままに受け入れていませんか。
- (5)家族の一人一人から、自分は受け入れられていると感じますか。
- (6)家族の中で私は誰から 未だ 受け入れられていないと感じますか。
- (7)家族の中で、私が受け入れにくい事は何ですか。

### 家 族 の 集 会

上記の課題について、互いに愛をこめ、おだやかにコミュニケーションします。批評や討論は一切慎みます。機会をとらえ、心をこめて感謝の言葉を言うことを勧めます。



## Ⅶ. より深く 理解しあうように

### オリエンテーション

- ・もしも 家族の中に誤解があるとしたら、それは人間関係が あまり深くなっていないことや コミュニケーションの不足が原因のことが多いです。
- ・人を あまりよく知らなければ心から受け入れられないので、その人を理解することは 出来ません。
- ・現在、世界中の多くの人々が 自分の家庭に誤解や無理解等、種々の問題を感じ、その解決を家庭外の所に探し求めています。その事は夫婦間の不和や争い、離婚etc.につながりますし、子供達は傷ついたり 欲求不満になったりして、家出の原因になったりします。
- ・“ わずかな予防は 大きな治療に匹敵する ”という言葉がありますが、この大事な相互理解について、これからの家族の集会で話し合ひましょう。

### 内 省

- (1) 今 自分が孤独だとか、理解されていないと感じていますか。以前では、どうでしょう。
- (2) 家族の中で孤立していたり、受け入れられていなかったりする人がいますか。それは 誰ですか。
- (3) 私を 一番理解してくれるのは、家族の誰ですか。
- (4) 私が 一番理解しているのは、家族の誰ですか。
- (5) もっと 理解しなければならぬと思うのは、誰ですか。
- (6) 私は 誰から もっと理解してほしいと思いますか。
- (7) 私の家族全体について、一番理解しにくいことは何ですか。
- (8) 今 私が理解してほしいと思う事で、家族が仲々 理解してくれないと感じる事がありますか。それは何ですか。

### 家 族 の 集 会

上記の課題について、発表する時も、聞く時も 尊敬の心をもって分かち合ひます。議論や消極的態度は 避けましょう！

## Ⅷ. 互いに、助け合うように

### トリエンテーション

- ・家族が互いに尊敬しあい、許しあい、信頼しあって ありのままの自分や家族を受け入れ、心から理解しあおうと努める時、助け合う家族になれます。
- ・しかし、多くの人々は 自分の家族の中で そのような助けが得られない為に それを家庭外に探し求めるといった問題があります。
- ・そういう人達の何人かは 幸いにして現在できている個人、夫婦、家族その他を支え、助けたりする様々なグループや組織（例えば禁酒同盟はアルコール中毒者の救済組織の一つ）から助けを見い出します。
- ・が、問題をもつ大部分の人達は その助けを仲々得られずに、いつまでも 同じ問題から ぬけられないのが現実です。
- ・今晚の集会の目的は、どのようにしたら 家族がよりよく 助け合うことが出来るかを共に考えることです。

### ク 省

- (1)家族の中で 今までに 私を一番助けてくれたのは誰でしたか。
- (2)現在 私を 一番助けてくれるのは 誰ですか。
- (3)私を もっと 助けてくれたらと思うのは 誰ですか。
- (4)私は どの点で 特別な助けを必要としていますか。また、どのように助けてほしいですか。
- (5)私が 一番よく助けているのは 誰ですか。
- (6)私が 一番助けていないのは 誰ですか。
- (7)もっと 私が 助けてあげなければと思うのは、誰ですか。
- (8)よりよい家族となる為に、一番力を入れているのは 誰ですか。

### 家族の集会

家族で互いに助け合う、一番よい方法を見つける為に 分かち合いましょう！

## Ⅸ。互いに 愛し合うように

### オリエンテーション

- ・“言葉より行いに価値がある”とされているように、「愛しています」と口で言うことは簡単ですが、実行することは容易なことではありません。
- ・愛することは一つの技術のようなもので、学びとっていくものです。
- ・愛には種々な種類や段階がありますが、今日 私達がとりあげるのは“家族”の愛です。
- ・聖書によると 愛は 神が 創造の中心にされた 神性なエネルギーで、愛のある家族が 神の 創造の中心です。
- ・愛し合う家族が、この世を 変えることが 出来ます。
- ・あなたの家族は どうですか。

### 内 省

- (1)家族の中で 一人一人に 愛を行っているのは 誰ですか。
- (2)私は 家族 皆から愛されていると 感じていますか。
- (3)私を愛してくれないと感じる人がいますか。それは誰ですか。
- (4)私が一番愛しているのは 誰ですか。それは、何故ですか。
- (5)私が一番愛していないのは 誰ですか。それは、何故ですか。
- (6)私が 今後、もっと愛を示さなければならないと思うのは、誰に対してですか。
- (7)私達の家族を 真の愛の共同体とする為に、どうしたらよいと思いますか。少なくとも 三つの例をあげてください。

### 家族の集会

すべての家族の中に流れる 内面的エネルギーを解放する為に、できるだけ深い コミュニケーションをしましょう！

## XI. 共に 神を 探し求めるように

### オリエンテーション

- ・これまで 取り上げてきた事は、特別 信仰を持たない人でも 自然に考えられるような事でした。
- ・もしかすると、心の中に 幾つかの質問や疑問が生じたかもしれません。
- ・家族の集会の前、或いは集会中でも、幾つかの乗り越えなければならない問題にぶつかったり、後で それまでなかった新しい問題が起きたりし、中には 解決出来ない事もあったかもしれません。
- ・また時には、家族の一致という目標など、とうてい“見果てぬ夢”を追うことだと思っただけでしょう。
- ・では 一体 何が足りないのでしょうか。
- ・「神」です。
- ・神しかありません。ある人にとっては、思いがけない答えかもしれませんが、それは 現在 多くの家族が体験している真実なのです。
- ・私達も「神である」と答える、同じ体験をしているのではないのでしょうか。
- ・もし、共に神を探し求めるなら、自分の家庭の中に すでに存在していた神を見い出すことが 出来るでしょう。

### 内 省

- (1)私自身の生活の中で、神は どういう意味がありますか。
- (2)家族の生活の中で、神は どういう意味がありますか。
- (3)私達にとって、神が 家庭の中心になっていると思いますか。
- (4)神が中心でなければ、そうあるべきだと思いませんか。
- (5)家族で一緒に祈ることが ありますか。あるなら、それは いつですか。
- (6)聖書に啓示されている 神のみ言葉を、家庭で共に聴いていますか。
- (7)私達の家族は、神の み教えを守っていますか。
- (8)私達は一人一人が 家庭の中でも外でも、神の み教えに 従おうと努めていますか。
- (9)家族の生活の中で、神を見い出すように 互いに助け合っていますか。
- (10)どうすれば 互いに もっと 助す合うことが 出来るでしょうか。

### 家 族 の 集 会

家族として、信仰をもつ共同体として、神との誓約を立てることが出来るように 互いの信仰や霊的な考え方を、分かち合います。

## X. 家族として 心を開くように

### オリエンテーション

- ・私達は 家族として 互いに出合い一致すると、次第に周囲の世界に対し オープンになれます。家族の集会の目的は、この周囲の世界に オープンになることです。この食卓を囲む分かち合いで家族の一致を得られると思いますが、そこで留まってしまふことは 望ましくありません。実生活を含む地域、社会、国・・・と、地球の すみずみまで、それを広げることです。
- ・ですからオープンで一致した家族として前進し、地域社会における他の家族と コミュニケーション出来るよう、一緒に考え、力を合わせていきましょう。
- ・福音“よき訪れ”は 私達だけで独占するのではなく、隣り近所、身近かな所から 全世界に知らすべきものなのです。
- ・この事を忘れないようにしましょう。素晴らしいエネルギー（福音）は 神が 私達の心に下さったものですが全世界が このエネルギーを必要とし、待っているのです。
- ・私達の使命は、愛である奉仕を促進、実行する家族になることです。これが地域でも社会でも すべての人間関係の基本となります。

### 内 省

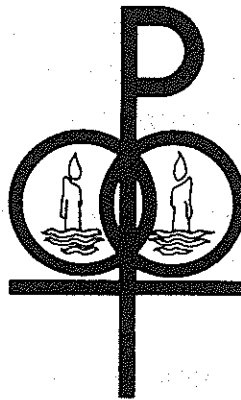
- (1)私達はオープンでしょうか、閉鎖的でしょうか。
- (2)私は オープンですか、閉鎖的ですか。
- (3)私達の中で 一番オープンなのは 誰ですか。
- (4)また 一番 閉鎖的なのは 誰ですか。
- (5)私達は 誰でも 暖かく歓迎する家族でしょうか。
- (6)私達は地域の人で、物質的に 又は精神的に 困っているのは 誰だか、知っていますか。
- (7)私達の地域の 家族の状態は、どうでしょうか。
- (8)私達は 地域社会の家族、特に困っている人達に対して どんな事を していますか。
- (9)また、何が 出来るでしょうか。
- (10)他人を助ける為に 私、又は家族が 実行しようと思ふ事は 何ですか。

### 家族の集會

家族として地域社会や国の為に社会的、使徒的的使命を見出せるように、信仰、行動、感情等を分かち合います。

何故ならば.....

- 愛は最高のもの、普遍で神秘的。果てしなく宇宙までも広がる広大なエネルギーです。
- 愛は 家族の中から生まれ、全世界に及びます。
- 愛はコミュニケーションから始まり、コミュニケーションは人と人との 出会いから始まります。
- 神からの素晴らしい贈物の一つは出会いです。それは神に対してオープンで、神の近くにいる人に与えられます。
- ですから 私達は、この贈物を受ける準備をしましょう！
- “ FIRES ”は、各々の家庭の中で 神からの贈物を見出し、育てる為の助けとなるでしょう。



## XII. 今までの 家族の集会を 評価するように

### トリエンテーション

- ・ 今までの 家族の集会を評価します。
- ・ 神が私達の家族の中に入れて下さった 優れたエネルギーを 果して開放しているか どうか、調べてみましょう。
- ・ 私達は 個人として家族として共同体として、どのくらい成長してきたかを考えます。
- ・ よりよい家族の共同体となるように 毎日 努力し、社会に奉仕しながら信仰の証し人になることが大切です。そして その出発点は自分の家庭、地域です。

### 内 省

- (1) 今までやってきた 家族の集会の中で、一番好きだったのは何番の集会でしたか。  
それは、何故ですか。
- (2) 又、あまり好きでなかった集会は 何番でしたか。  
それは、何故ですか。
- (3) 今までの家族の集会を通して 発見したことは . . . . . (少なくとも五つ 挙げて下さい)
- (4) 今までの家族の集会を通して、一番 役に立った事は 何でしたか。
- (5) 私にとって 一番 困難だった事は、何でしたか。
- (6) 家族の集会を通して、一人一人が中か良い方向に変わりましたか。例えば、私は . . . . .
- (7) 今までの集会を通して得た、今後の私の心構えは 次のようです。 . . . . .
- (8) 私は 次の事を 提案したいです。 . . . . .

### 家族の集会

上記八つのポイントについて、互いに愛をこめて 耳を傾けます。そうすれば 家族の集会の意義や深さを体験する事が出来、物足りなさを感じたとしても、これからの集会の中で 互いの成長を目指して改善してゆくことが 出来るでしょう。

## 和解の祈り



私たちの父である神よ、私たちの  
家庭に下さったすべての恵み  
に感謝いたします。

私たちが互に耳を傾け、支  
え合うことができるよう、怒り争い  
不安におちいることなく、かえって  
愛と喜びと平安のうちに赦し合え  
るよう祈りして下さい。悩んでいる他  
の家族のさまざまなお心に心を  
留めることのできる柔らかな  
心を整えて下さい。何よりも  
家族として、あなたの愛と一致  
の印になりますように。  
主イエズス・キリストによって。



